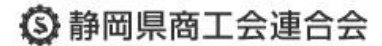


# News Release



県下商工会と一体となり  
小規模企業の支援を行っています

## 【平成 30 年 12 月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび平成 30 年 12 月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

### 1 調査概要

- (1) 調査時点 平成 30 年 12 月 31 日
- (2) 調査対象 県下 35 商工会（うち 34 商工会より回答）【回収率 97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の 10 業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

### 2 概要（トピックス）

#### 【年末を迎え、宿泊やクリーニング等のサービス業が全体的に好転】

産業全体の業況 DI（景気動向指数・前年同月比）は-14.2（前月-8.8、前年同月-11.9）で、前月比 5.4pt 悪化した。年末、ボーナス時期ということもあり、耐久消費財の販売や、宿泊、理美容、クリーニングといったサービス業が好調であった。また、消費税軽減税率対応レジやキャッシュレス化等、次年度の消費増税に関連した設備導入が進む一方、新規人材が確保しづらい中における事務負担の増加等を懸念する声も聞かれた。

#### 【製造業】

業況は-9.8（前月 0.0、前年同月-1.8）と前月に比べ 9.8pt 悪化した。食料品製造業、機械金属業ともに原材料高や物流コストの上昇、人件費負担の増加を受け、全体的に採算が悪化したほか、一部の地域において、繊維工業では廃業者が出始めている。

#### 【建設業】

業況は-11.8（前月 8.9、前年同月-13.5）と前月に比べ 20.7pt 悪化した。台風被害への対応が依然として続く中、人材不足が深刻であり、一部事業者では、省人化を目的とした IT 活用への関心が高まっている。

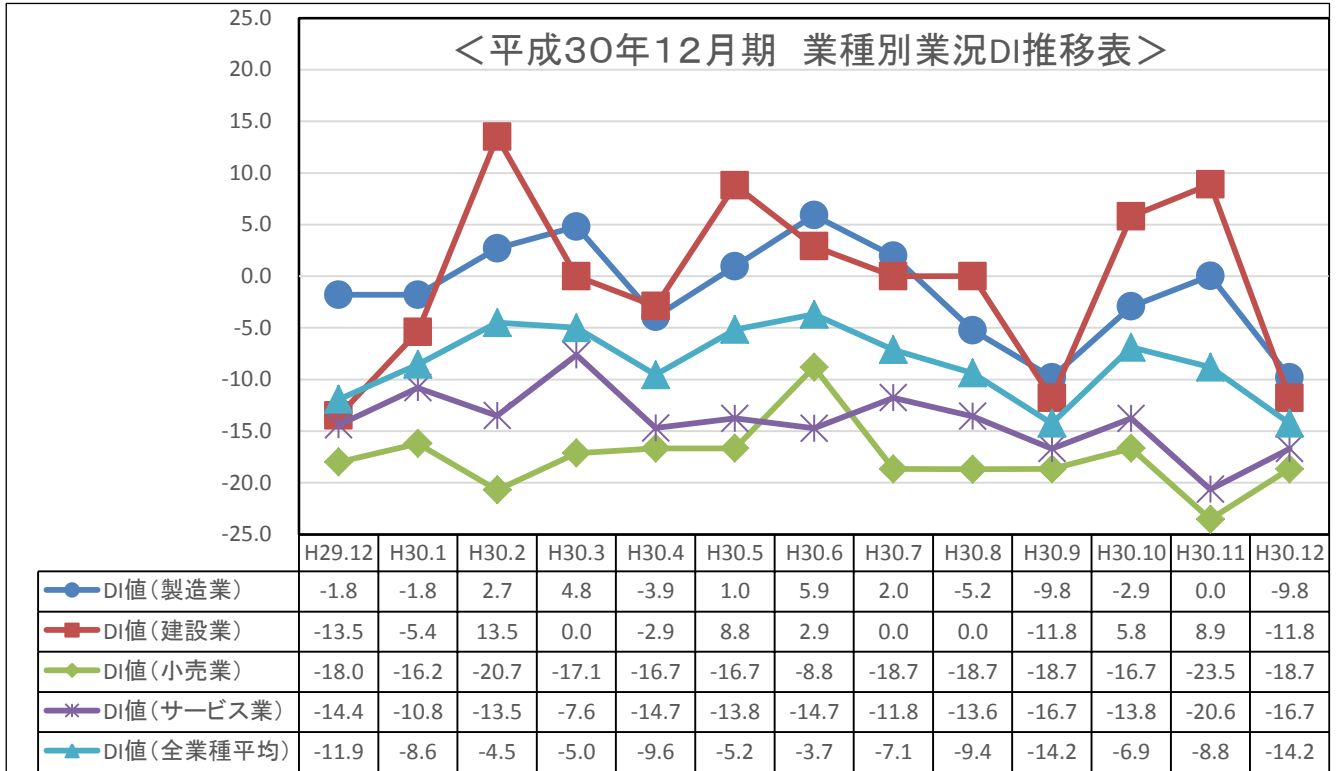
#### 【小売業】

業況は-18.7（前月-23.5、前年同月-18.0）と前月に比べ 4.8pt 好転した。温暖な気候が続き、冬物衣料が依然として低調である一方、ボーナス支給や年末商戦時期を迎え、耐久消費財の販売が好調であったことから、小売業全体の景況感を押し上げた。

#### 【サービス業】

業況は-16.7（前月-20.6、前年同月-14.4）と前月に比べ 3.9pt 好転した。年末を控え、理美容やクリーニングの需要が増加したほか、年末休暇を中心に観光地の宿泊利用も好調であった。

**3 本調査に関する問合せ** 静岡県商工会連合会 産業振興課 TEL054-255-9811〔担当：高野・中村〕



**<経営指導員コメント抜粋>**

**【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)**

- ・突発的な受注対応が多く、予定が立てづらいため、人繰りが難しい。(伊豆)
- ・原材料高に加え、物流費も上昇しており、利益が確保しづらい状況にある。(富士駿東)
- ・桜えび秋漁の全面中止により、原料確保が難しいほか、仕事量の減少に伴い、雇用維持にも苦慮している。(中部)
- ・受注は安定しているが、人手不足が深刻で、短時間でも働ける人材を求めている。(中東遠)
- ・繊維工業は厳しく、廃業者も増えている。一方、金属加工は依然として堅調に推移している。(西遠)

**【建設業】**

- ・年末を控え、リフォーム工事の受注が若干増えた。(伊豆)
- ・台風 24 号の修繕需要が依然として続いているほか、修繕と併せて、別途リフォームを依頼されるケースも出てきている。(富士駿東)
- ・人材確保が難しく、外注依存が増えたことで資金繰りが悪化している。(中部)
- ・人材不足が深刻化する中、省人化を目的に IT 活用への関心が高まっている。(中東遠)
- ・現時点では、消費増税を見据えた駆け込み需要は少ない状況にある。(西遠)

**【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)**

- ・コンビニ等、競合他店に対抗するため、営業時間の見直しや宅配需要への対応等、営業スタイルを見直す食料品店が見られる。(伊豆)
- ・消費税軽減税率対応レジの導入、キャッシュレス決済への対応が続く一方、大型商業施設の開業を控え、従業員引き留めのために人件費が増えている地域がある。(富士駿東)
- ・衣料品については、暖かい陽気が続いたため、冬物衣料の需要が低調である。(中部)
- ・ボーナス時期ということもあり、エアコン等の季節家電をはじめ、耐久消費財が全体的に好調であった。(中東遠)
- ・各所で年末売り出しを行ったが、期待していたほどの売上は得られなかった。(西遠)

**【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)**

- ・年末の宿泊利用は順調であったが、12月初～中旬に関しては、利用が少なかった。(伊豆)
- ・テイクアウトを扱う飲食店において、慢性的な人手不足である一方、次年度の消費税軽減税率制度の開始に伴う業務負担の増加に不安を感じ始めている。(富士駿東)
- ・原油価格の高騰による採算の悪化を懸念する傾向が強まっている。(中部)
- ・洗濯業、理美容業ともに 12 月を通じて、来店、利用が順調であった。(中東遠)
- ・民宿を中心に旅館業では、予約件数が昨年を上回った。(西遠)

小規模企業景気動向調査（平成30年12月末）

1.食料品製造業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-26.4	-11.7	悪化
売上	-14.7	-5.8	減少
仕入単価	14.7	17.6	低下
採算	-20.6	-23.5	好転
資金繰り	-8.8	-20.6	好転

2.繊維工業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.8	-11.8	不変
売上	-8.9	-5.9	減少
仕入単価	5.9	2.9	上昇
採算	-8.8	-8.8	不変
資金繰り	-5.9	-5.8	悪化

3.機械金属業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	8.8	23.6	悪化
売上	14.7	26.5	減少
仕入単価	32.4	26.4	上昇
採算	-2.9	-2.9	不変
資金繰り	-2.9	-5.9	好転

4.建設業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.8	8.9	悪化
売上	5.9	23.6	減少
仕入単価	29.5	17.7	上昇
採算	-14.7	-8.8	悪化
資金繰り	-8.9	-20.6	好転

5.衣料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.4	-29.4	不変
売上	-23.5	-17.6	減少
仕入単価	-3.0	5.9	低下
採算	-23.5	-23.5	不変
資金繰り	-20.6	-17.6	悪化

6.食料品小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-20.6	-17.7	悪化
売上	-11.7	-8.8	減少
仕入単価	17.6	20.5	低下
採算	-20.6	-20.6	不変
資金繰り	-2.9	-8.8	好転

7.耐久消費財小売業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-6.0	-23.5	好転
売上	8.8	-23.5	増加
仕入単価	17.7	14.7	上昇
採算	-5.9	-11.8	好転
資金繰り	-5.9	-20.6	好転

8.旅館業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-8.9	-17.7	好転
売上	-2.9	-5.9	増加
仕入単価	14.7	11.8	上昇
採算	-5.9	-17.7	好転
資金繰り	-5.9	-14.7	好転

9.洗濯業

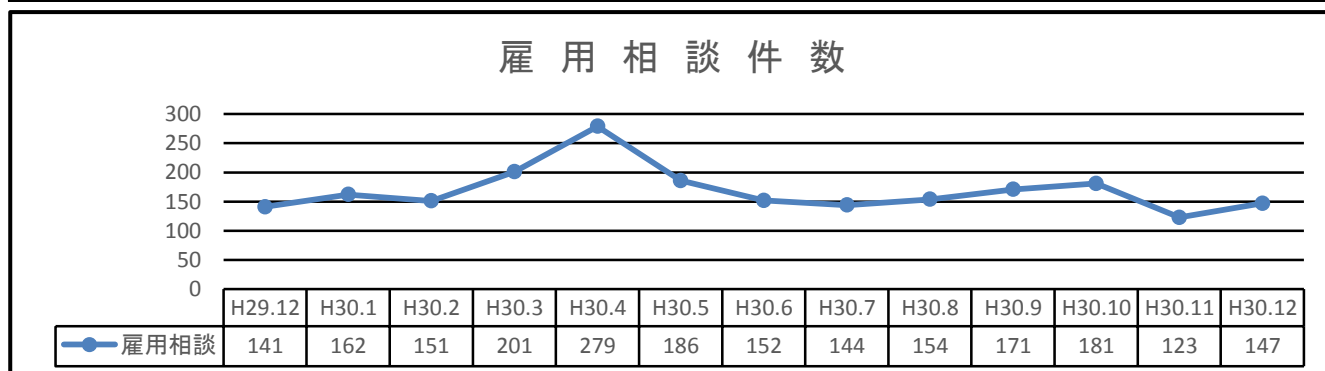
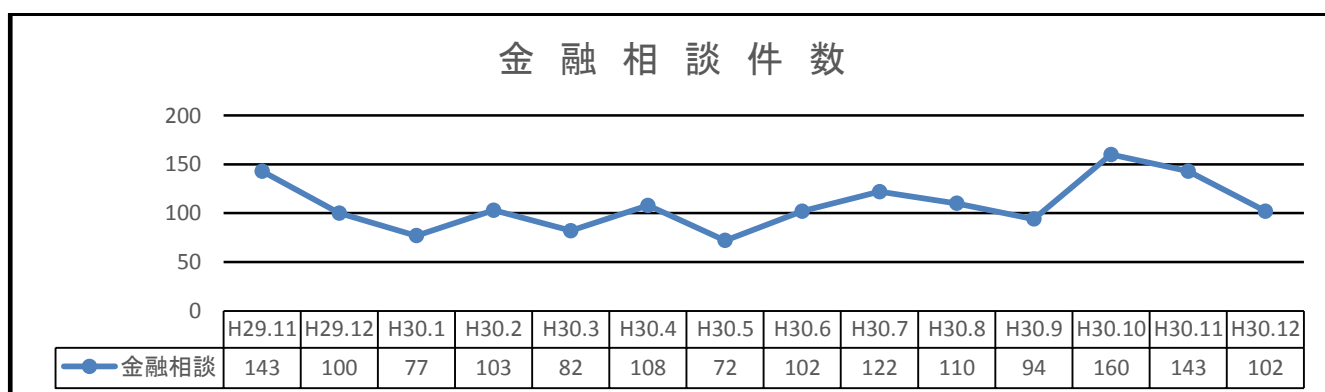
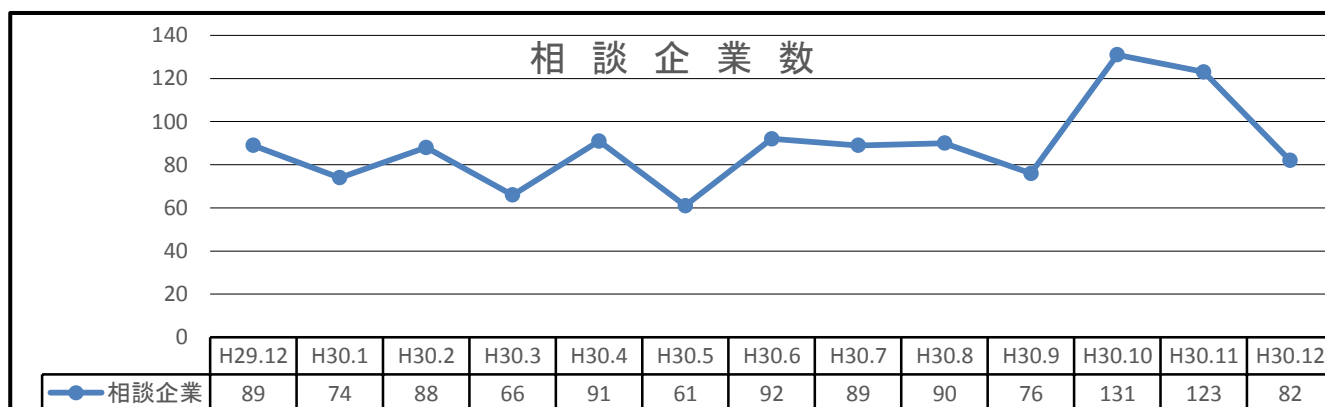
	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-29.4	-23.6	悪化
売上	-17.7	-20.6	増加
仕入単価	17.6	11.8	上昇
採算	-14.7	-11.8	悪化
資金繰り	-11.8	-14.7	好転

10.理美容業

	今期 DI	前期 DI	対前期比
業況	-11.8	-20.6	好転
売上	3.0	-8.8	増加
仕入単価	0.0	0.0	不変
採算	3.0	-5.9	好転
資金繰り	0.0	-3.0	好転

## 金融・雇用相談実績月次報告(平成 30 年 12 月期)

内容別内訳 (※ 1 件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	82	123	-41
【金融相談件数】	102	143	-41
新規融資（借換えを除く）	59	83	-24
既存債務の借換え	37	52	-15
借入れ条件変更	1	3	-2
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	5	5	0
【雇用相談件数】	147	123	24



## 【金融相談】

金融相談件数は、82件と前月(123件)に比べ41件減少した。11月頃にピークを迎えていた年末資金等の相談が一段落し、今月は全体的に相談件数が減少した。一方で、桜えび秋漁の全面中止を受け、資金繰りの悪化を招く企業が出始めており、今後の見通しが立たない中、注意が必要である。

### <経営指導員コメント>

- ・11月末に年末資金の相談があったが、12月はなかった。(伊豆)
- ・例年になく資金需要が低調である。(富士駿東)
- ・桜えび秋漁の全面中止に伴い、原料を確保できず、資金繰りが悪化した桜えび加工業者からの相談があった。(中部)
- ・既存融資の借換え相談が経常的に発生している。(中東遠)
- ・融資の相談が旺盛だった前月とは一転して、12月はほとんどなかった。(西遠)

## 【雇用相談】

雇用相談件数は、147件と前月(123件)に比べ24件増加した。業種、地域を問わずに人手不足が慢性化する中、外国人労働者の受入拡大に向けた改正出入国管理法の成立を受け、外国人労働者の雇用に関する相談が増えているように感じる。

### <経営指導員コメント>

- ・雇用保険取得手続きに関する対応を行った。(伊豆)
- ・人手不足や業務効率化に課題を抱える企業に、適宜、支援制度を紹介した。(富士駿東)
- ・外国人派遣労働者の雇用に向けた手続きに関する相談があった。(中部)
- ・製造業、建設業を中心に、人材確保に関する相談が依然として多い。(中東遠)
- ・従業員の新規雇用に関する相談が多い。(西遠)

## 【その他商工会管内に関するコメント】

- ・12月2日、土肥山海フェアを開催した。(伊豆市)
- ・12月13日、伊豆ゲートウェイ函南の隣地に「めんたいパーク」がオープンした。(函南町)
- ・ふるさと納税の受付を平成31年1月1日から中断することになった。(小山町)
- ・スタンプ会における年末感謝還元事業として、スタンプ押印済カード等と買い物券とを交換できるサービスを実施したところ、加盟店の売上増加に繋がった。(菊川市)
- ・森の軽トラ市(12/22)を主催した。(森町)
- ・特産品である地酒(あさば一万石)の今年度醸造分を12月21日より販売したほか、ふるさと納税の返礼品としての受付も開始した。
- ・家庭で不要になったイルミネーション電飾を活用した湖西ウィンターフェスタ in 平次ヶ谷を12月8日～25日の期間に開催した。(新居町)
- ・牡蠣の水揚げ高が少なく、取引金額も高止まりしている状況である。(浜名)